

地方

東北6県

足を置いた施策を打ち出したのが特徴だ。岩手県が求職者総合支援センター（仮称）を設置するなどの雇用創出の取り組みが目立つほか、山形県や福島県などは新ファンドを

が千二百人以上を創出したため全部で六十事業、総額で十二億千三百万円の就労支援策を計上。宮城県は雇い止めなどによる失業者を雇用した事業者に対する奨励金を支給

各県、知恵雇用創出や人

た場合に費用を助成する。岩手県は産業集積の促進を目指し、自動車関連などの三次元設計技術者を育成するセンターを設置する。

第二次補正予算に関連し、一体編成した〇八年度補正予算約二百六十八億円を加えると、一・四増の約七千八百八十億円となる。厳しい経済情勢に対応し、〇九年度当初と

太陽光・熱での複合発電

教材用模型を開発

ソートR&D

宮城県の製造業などで構成するソートR&D（仙台市）は宇宙航空研

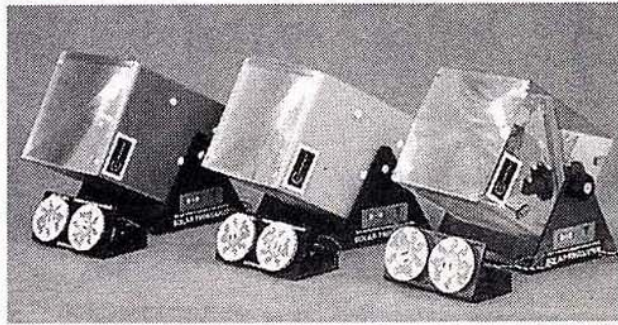
究開発機構（JAXA）の協力を得て、太陽の光熱による複合発電を再現する模型Ⅱ写真Ⅱを制作、販売を始めた。JAXAが持つ太陽光と太陽熱の複合発電技術などを

学べる。教育機関の環境学習などで需要を見込む。模型「ソーラーツインザラス」は発電するとプロペラが回る。ソートR&Dに参加する一社のミウラセンサー研究所（仙台市）が製造を担当する。寸法は学校の机にも載る

大きさ。プラスチック製タイプで二万四千五百円（送料別）。

複合発電は、注いだ太陽の光から可視光と赤外線に分けて取り出し、光による発電と熱による発電をそれぞれ行うことで効率よく電氣を得る仕組み。JAXAなどが宮城

県内や中国の内モンゴル自治区で実証に乗り出した経緯がある。



車関連参入へセミナー開く

宮城県自動車関連産業新規参入セミナー



セミナーの冒頭であいさつする村井嘉浩知事

宮城県、経営者など270人参加

宮城県などは十八日、地元企業向けに「宮城県自動車関連産業新規参入セミナー」を県庁で開いた。自動車産業界との取引

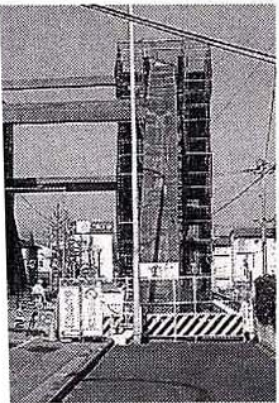
宮城県などは十八日、地元企業向けに「宮城県自動車関連産業新規参入セミナー」を県庁で開いた。自動車産業界との取引

た福車藤かミ議み行県トに世ぎ

老いる都市

③

济情勢の悪化で税金収が急減するなか、整備費用の捻出（ねんしゅつ）は自治体に重い課題となっている。



行を止めて修理 葉県君津市)

高架が多い都市部の高速道路も老朽化問題を抱えている。阪神高速道路は一九七〇年の大阪万博前後に建設された路線が多く、供用が

こなし

〇七年具合が告され大規模改修